

陳情第 2 号

陳 情 書



霧島市議会議長 殿

平成29年5月24日

鹿児島県霧島市霧島田口
四季の里自治会長 小沼唯二

霧島田口地区の市道拡張を求める陳情書

陳情事項

- 霧島市は、霧島田口の「四季の里」から広域農道への市道拡張工事を行うことを陳情いたします。なお、自治会設立時、市長から役所との連携の強化及び行政からの支援について承諾済みです。

陳情理由等

1 情 勢

自然界において、29年3月20日以降、霧島山（新燃岳）の火山性地震回数が増加しており、噴火した場合、当地は完全孤立化が懸念され、住民が最も不安に思っている事項です。

また、当地「四季の里」の開発業者の倒産により販売残の区画、及び「四季の里」内の私道を、メガソーラー開発を企図し事業とする者が取得しており、さらに周辺、別荘開発予定であった林地を同事業者が取得する動きがあります。「四季の里」住民に対する通行制限、道路管理料を徴収するとの話もあり、住民は袋小路どころか封鎖されかねない状況を恐れています。

「四季の里」住民は霧島市の移住定住の呼びかけに応じて、他府県から移住してきた者が多数居住しており、この状況に落胆しております。現在、自治会を立ち上げ、認可地縁団体化を図り、住環境保全の動きを進めているところであります。

当地は医療過疎地であり、消防署へ患者の救急搬送を要請してから杉安病院搬送完了まで45分を要していることから、自治会総会、臨時総会において、「急病発生時に当地に即、医療従事者による往診に来ていただくには！」ということに着目し、将来構想を実現していく方針になり、認可地縁団体化した自治会によるドクターヘリのランデブーポイントなる着陸用地設定を行い、霧島消防署へ候補地として推薦書を鹿児島県に推挙していただくことを考えております。

2 理 由

上記情勢から、災害発生時、袋小路のため緊急車両の進入経路が一方向しかなく限定され、かつ、大型緊急車両は進入不可能であること、また、唯一の脱出経路を災害等で塞がれた場合、当地の住民（殆ど高齢者）を山地経由引率避難させなければならないこと、更に、当地周辺地区の方々もドクターヘリの要請に至った場合に、「四季の里」内に設定予定のドクターヘリのランデブーポイントに広域農道からの円滑なアクセスを可能にするためにも、この代替経路を確保し、当地及び周辺地区住民の不安を軽減していただきたく陳情するものです。趣旨にご賛同いただきますようお願いいたします。